

PVM-X3200/X2400/X1800 リリースノート

Ver.5.01

1. 適用可能なファームウェア:

PVM-X3200 Ver.2.00 以降

PVM-X2400 Ver.1.04 以降

PVM-X1800 Ver.1.04 以降

ご注意

- ・ 本モニターのファームウェアバージョンは Status メニューの Unit Status で確認できます。
- ・ ファームウェアバージョンが Ver.1.03 の場合は先に Ver.1.04 へアップデートしてください。
- ・ Ver.1.04 のアップデートファームウェアはサポートページからダウンロードしてください。
- ・ Ver.1.04 へのアップデートは約 1 時間 10 分掛かります。

2. ファームウェア情報:

ファームウェア	旧バージョン					新バージョン
Software	2.00	3.01	4.00	4.01	5.00	5.01
FPGA1	0143	0230	0370			
FPGA2	0053	0060	0060 (X1800/X3200) 0061 (X2400)			
FPGA3	0032 or 1023 or 1024					
FPGA4	1002200					
FPGA5	0B74CC				_ 1)	
CPLD	0003					
Data1	0004					
Data2	0053 (X1800/X2400) 0054 (X3200)	0061	0064			

- 1)：ファームウェアバージョンが Ver.5.00 以降、FPGA5 のバージョンは表示されません。

ご注意

- ・ ソフトウェアと FPGA の両方のアップデートが必要です。本アップデートのモニター1 台当たりの所要時間は、下表の通り旧バージョンにより異なります。

旧バージョン	所要時間
V1.04 または V2.00	約 1 時 25 分
V3.01 以降	約 1 時 6 分

3. 準備

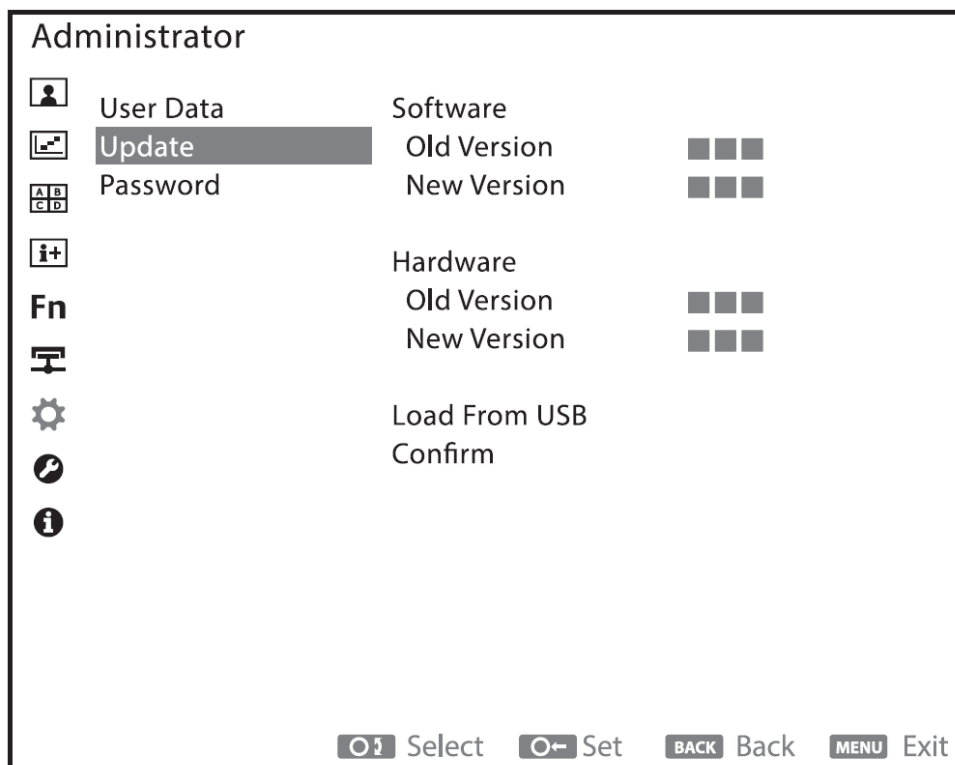
下記の USB メモリーを 1 個準備してください。

仕様: USB 3.0 8GB 以下、FAT32 フォーマット

詳細は PVM-X3200、PVM-X2400 及び PVM-X1800 の取扱説明書の「USB メモリーの取り扱い」をお読みください。

4. アップデート方法:

- ・ ZIP 化されたアップデートファイルをソニーのウェブサイトからダウンロードし、解凍後、ファームウェアの「MSSONY」フォルダーを USB メモリーの直下に置いてください。
 - ・ その USB メモリーをモニター本体の USB 端子に挿してください。
- メニューボタンを押して、オンスクリーンディスプレイメニューを開いてください。
 - Administrator メニューの Update メニューへ進んでください。



- Load from USB を選択し、
Software New Version : 5.01
Hardware New Version : 3.71
と表示されていることを確認します。
- Confirm を選択してください。
- 旧バージョンが V1.04 または V2.00 のときは、すべてのファンクションボタンが 2 度点灯した後、本機の電源を OFF/ON して再起動してください。
旧バージョンが V3.01 以降のときは、アップデート完了後、本機が自動的に再起動します。

詳細は取扱説明書の“Administrator”メニューの Update をご覧ください。

ご注意

- ・ アップデート中は本機の電源を切らないでください。万一アップデート中に電源が切れた場合は、最初から操作しなおしてください。
- ・ ソフトウェアアップデート中はファンクションボタンの LED が F5 から F11 に向けて順に点灯します。ソフトウェアのアップデートが完了するとすべてのファンクションボタンが点灯します。しかし、アップデートはまだ終了していませんので電源を絶対に切らないでください。ハードウェアアップデートが直ぐに始まります。
- ・ ハードウェアアップデート中もファンクションボタンの LED が F5 から F11 に向けて順に点灯します。アップデートが終わると、すべてのファンクションボタンが再度点灯します。

5. Ver.5.01 の変更点:

- ・ Ver.4.01 からの変更点は下記となります。オンスクリーンディスプレイメニューも本変更に応じて変更している場合があります。
- ・ 本アップデートを実行すると、お持ちのモニターは Ver.5.01 にアップデートされます。

ID	新機能	説明
1	HDR-SDR 及び 3D LUT 変換のバックグラウンド処理 EMO 出力機能	PVM の画面で HDR 表示しつつ、拡張 SDI 出力 EMO (Enhanced Monitor Out.) 出力から接続された外部モニターには SDR 信号を出力することが出来ます。また、録画機に接続してオフライン編集用の素材を作ることなども可能です。HDR/SDR 映像の同時制作の自由度が増す機能改善です。
2	HDR-SDR 変換時の Side by Side 左右入れ替え機能	Side by Side 表示の際、SDR, HDR を左右のどちらにも設定することが出来ます。

3	Side by side 時の EMO 映像の自由設定	Side by side で表示した映像のどちらかを自由に選択し EMO 出力に設定することが出来るようになりました。
4	Quad View 時の HDR-SDR 変換対応(HD のみ)	4 分割表示時も HDR-SDR の Conversion (変換) が出来ます。
5	Quad View 時の EMO (変換出力) 映像の自由設定(HD のみ)	各映像に合わせて 4 分割表示した映像から任意のひとつを EMO に出力することができます。
6	Single Link 4K/HD 自動検知 (SDI Input 1 あるいは SDI Input 3 に適応)	CH を変えずに HD - SDI から 12G-SDI までシングルリンク信号の自動検知(SDI Input 1 あるいは SDI Input 3)することが出来ます。システムが Video Payload ID に対応している場合、モニターの VPID 自動設定機能を ON にすると、色域、Transfer Matrix や EOTF の設定も出来ます。
7	インターレース表示機能	インターレース信号に対して偶数ライン、奇数ラインそれぞれに黒を挿入しオンライン編集時に偶数/奇数フィールドが前後フィールドと合致しているか確認することが出来ます。
8	HDR 専用 Black Detail Mode	最大輝度 400/500/600/700cd/m ² *を設定し運用出来、かつ黒輝度を下げることが出来ます。 ITU-R BT.2100(HLG)では映像の最大輝度として表示され、SMPTE ST2084(PQ)や S-Log3 では設定された輝度で映像がクリップされます。
9	Source ID 表示機能	SDI の Metadata 部分に重畳されるソース情報 (最大 15 文字) を映像にオーバーラップ表示が出来ます。

- ・ * 本輝度は D65(x, y)=(0.3127, 0.3290)時の標準値であり、保証値ではありません。

- Ver.5.00 から下記の不具合を改善しています。

ID	不具合内容説明
10	パネルに表示している入力端子以外の端子に、不安定な信号を入力した際に表示画像が乱れる。
11	BlackDetailMode400,500,600,700 の際の内蔵信号の輝度が低い。

ご注意

- モニターはアップデート後もユーザーデータを保持しています。もし、新しい F Key Preset のデフォルト値を表示したい場合、User Reset をする必要があります。ユーザーリセットをすると、パスワード、All User Data Save されたデータや User LUT1 から User LUT30 のデータ以外はモニターが工場出荷時設定に戻ります。User Reset した場合はセーブされていないユーザーデータはクリアされます。